

有田市の子どもたちの状況

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から

全国学力・学習状況調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること」を目的に実施しています。これらの結果を見習い、児童生徒の学力や学習状況を測る一つの指標として、全国の状況等をもとに分析し、成果と課題を検証するとともに、教育活動の充実や日々の授業改善を図り、児童生徒一人一人の学習状況の改善等につなげていきます。

1. 調査概要

◆調査日時：令和6年4月18日（木）

◆調査事項：①児童生徒：教科調査〔(小)国語・算数(中)国語・数学〕
質問調査（生活習慣や学習環境等に関する調査）

②学校：質問調査（学校における指導方法や教育条件の整備の状況等に関する調査）

◆対象学年：小学校第6学年及び中学校第3学年

◆調査の特徴：児童生徒質問調査について、全面的に
オンラインによる回答方式で実施

◆市内実施学校数及び参加人数

- ・小学校調査…7校（189名）
- ・中学校調査…1校（193名）



平成30年度までは、

- ・「A問題」（主として「知識」に関する問題）
 - ・「B問題」（主として「活用」に関する問題）
- に分かれていましたが、平成31年度（令和元年度）よりA問題・B問題が統合され、「知識」・「活用」を一体的に問う形式での出題となっています。

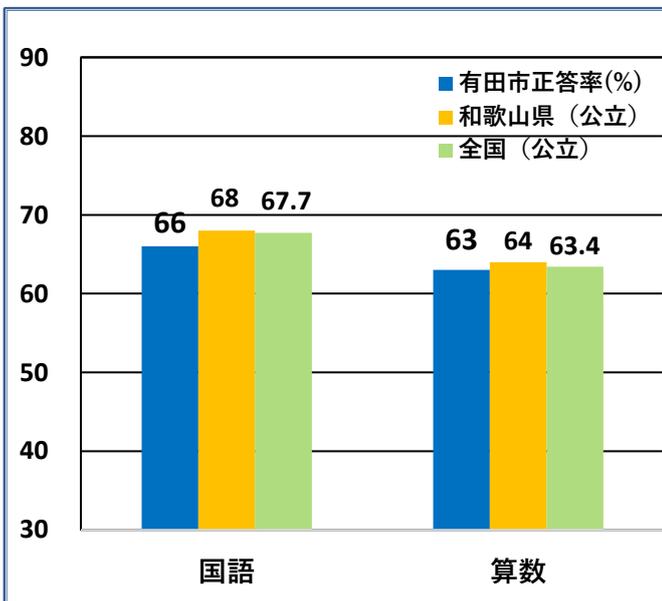
2. 教科に関する調査結果概要

① 各教科における調査問題数と平均正答数

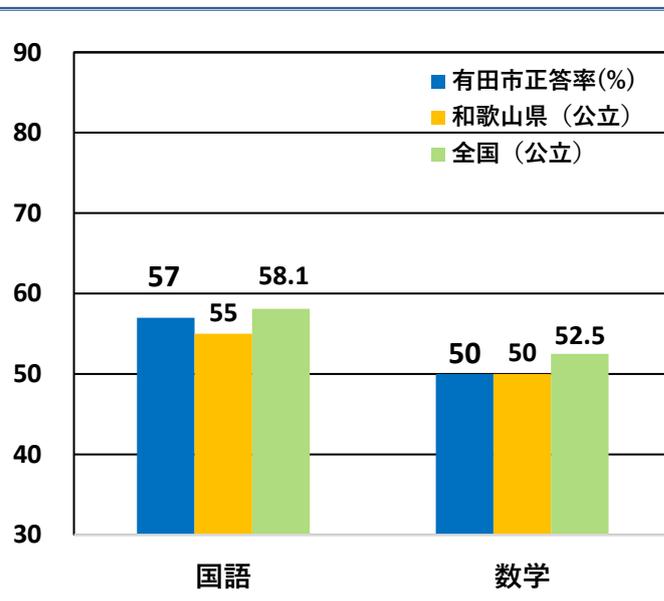
小学校6年生	国語	算数
調査問題数	14問	16問
全国平均正答数（問）	9.5問	10.1問
有田市平均正答数（問）	9.3問	10.0問

中学校3年生	国語	数学
調査問題数	15問	16問
全国平均正答数（問）	8.7問	8.4問
有田市平均正答数（問）	8.5問	8.0問

② 各教科における平均正答率（％）



小学校第6学年



中学校第3学年

表は各教科の調査問題数（問）と平均正答数（問）を、グラフは各教科における有田市、和歌山県（公立）、全国（公立）の平均正答率（％）を表したものです。小学校第6学年、中学校3学年とも国語、算数・数学両方の教科で全国平均正答率を少し下回っています。正答数の差で見ると、全国と比較して0.1問から0.4問下回る結果となっています。無解答率（解答なしの割合）をみると、小6、中3とも全国と比較して低い傾向にあります。

3. 教科に関する調査結果

国語 【学習指導要領の内容別正答率】

国語		小6	中3
知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	○	—
	(2)情報の扱い方に関する事項	—	—
	(3)我が国の言語文化に関する事項	○	○
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	▼	—
	B 書くこと	○	○
	C 読むこと	—	—

◎…全国と比べて3pt以上高い ○…同程度（全国平均以上）
 —…同程度（全国平均以下） ▼…全国と比べて3pt以上低い

小学校6年生では、「書くこと」について全国平均を上回っているものの、「話すこと・聞くこと」については、全国を3pt以上下回っています。「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」については、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を下回っており、課題がみられます。

<問題より一部抜粋>

<小6国語> 大問3

問二 原さんは、【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめるために、同じ物語を読んだ鳥さんと話し合うことにしました。次は、【話し合いの様子】です。

【話し合いの様子】

鳥さん：私には、(4)を示しながら「きれいな虹がかんで見えるだけ」といって表現がいいなと思ったよ。もう一度物語を読んで、心に残ったところとその理由を考えてみよう。

原さん：そうだね。物語のいろいろなところを結び付けて考えると、心に残った理由がはっきりしてきたよ。鳥さんは、どこが心に残ったの。

鳥さん：そうか。それで結局、オニグモじいさんは、(3)を示しながら「わしが食べて生きているのは、朝日のひかりだよ」と言ったんだね。

原さん：この言葉にオニグモじいさんの速いと思ったりからなんだ。(2)を示しながら「大きな目をひらいて、いっしょうけんめい」とあるようなハエの子のすなおな姿を見て、自分がハエの子を食べる存在であることを、どのように話すか迷っているのではないかな。

鳥さん：なぜ、そこが心に残ったの。

原さん：私は、オニグモじいさんがハエの子に、(1)を示しながら「わしみたいなクモが、生きるために食べているのはな」と言っていたところが心に残ったんだ。

1 登場人物の気持ちや考え方を伝えること

2 作者が伝えていること

3 物語の構成

4 表現の効果

「表現」という言葉だけで判断▲

有田市 誤答 24.9%

有田市正答 59.3%

全国正答 72.5%

(2)【話し合いの様子】で、原さんは【物語】を読んで考えたことを話しています。原さんは、物語の何に着目して話していますか。

その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【小学校 国語】 (<できていない ◆課題がある 数字は正答率)

◇「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうか」[3三]は、全国平均を大きく上回っています。

(有田市 77.8% 全国比+5.2pt)

◆「【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものと、適切なものを選択する」[3二(2)] ことについて課題があります。(有田市 59.3% 全国比-13.2pt)

【中学校 国語】

◇「目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる」[3一] ことはできています。

(有田市 84.5% 全国比+3.1pt)

◆「文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる」[3二] ことに課題があります。

(有田市 46.6% 全国比-7.2%)

<中3国語> 大問3

<問題より一部引用>

二 佐藤さんは、【物語の下書き】の線部「すぐに知りたいことを教えてくれるし」について、語句の係り方があいまいであることに気付き、「知りたいことをすぐに教えてくれるし」のように「すぐに」の位置を直すことにしました。その意図として最も1から4までの中から一つ選びなさい。

1 「すぐに」という主語と、それを受ける「教えてくれるし」という部分の関係を明確にしようとした。

2 「すぐに」という修飾語と、修飾される「教えてくれるし」という部分の関係を明確にしようとした。

3 「知りたいことを」という修飾部と、修飾される「すぐに」という部分の関係を明確にしようとした。

4 「知りたいことを」という主部と、それを受ける「教えてくれるし」という部分の関係を明確にしようとした。

▲「すぐに」という語句と「教えてくれるし」という部分との関係が明確になることを理解できていない

有田市 誤答 21.8%

有田市正答 46.6%

全国正答 53.8%

算数・数学 【学習指導要領の領域別正答率】

◎…全国と比べて3pt以上高い ○…同程度（全国平均以上）
 ー…同程度（全国平均以下） ▼…全国と比べて3pt以上低い

算数 / 数学	小6	中3
A 数と計算 / A 数と式	—	—
B 図形	—	▼
C 測定	—	—
C 変化と関係 / C 関数	—	—
D データの活用	—	—

小学校6年生、中学校3年生ともすべての領域において全国平均を少し下回っています。
 「B 図形」の領域においては、中学校3年生で全国平均を3pt以上下回っています。小学校6年生においても、「B 図形」の領域で課題がみられます。

【小学校 算数】 (◇できている ◆課題がある 数字は正答率)

- ◇ 「問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ」 [1(1)] ことについて全国平均を大きく上回っています。(有田市 70.2% 全国比+8.1pt)
- ◆ 「球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す」 [3(3)] ことに課題があります。(有田市 30.3% 全国比-6.2pt)

【中学校 数学】

- ◇ 「簡単な場合について、確率を求める」 [5] ことはできています。(有田市 76.2% 全国比+3.1pt)
- ◆ 「事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだす」 [9(2)] ことに課題があります。(有田市 19.7% 全国比-7.0pt)

<小6 算数>大問 3(3) (「B 図形」領域)

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体 1 辺の長さは…?

有田市 正答 30.3%
 全国 正答 36.5%

【問】この立方体の形をした紙の箱の体積が何cm³かを求める式を書きましょう。ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

【正答】「 $22 \times 22 \times 22$ 」と解答しているもの
 【主な誤答例】
 ① 「 22×22 」 有田市誤答 10.1%
 ② 22×3.14 など「3.14 を用いた式」 有田市誤答 16.5%

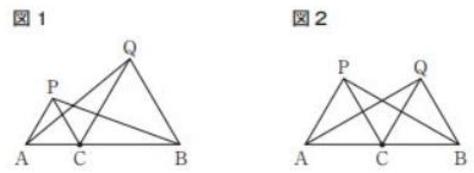
問◎点Cが点Aと中点Mの間にあるとき $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は①。
 ◎点Cが中点Mと点Bの間にあるとき $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は②。

【問】上の①, ②それぞれに当てはまるものを、下のアからエまでのの中から1つずつ選びなさい。
 ア 60° より大きい
 イ 60° より小さい
 ウ 60° になる
 エ 60° より大きいことも小さいこともある

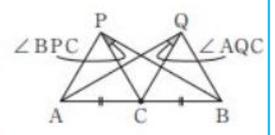
◆学習指導に当たっては、事象を図形に着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるようにします。さらに、条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだすことができるよう指導の充実を図ります。

<中3 数学>大問 9(2) (「B 図形」領域)

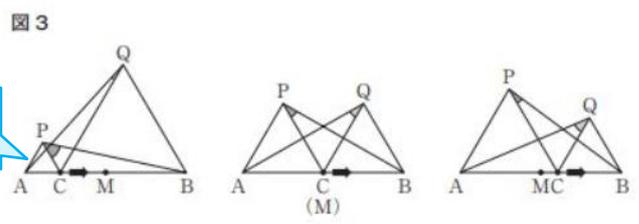
9 線分ABがあります。線分AB上に点Cをとり、AC、CBをそれぞれ1辺とする正三角形PAC、QCBを、線分ABについて同じ側につくります。そして、点Aと点Q、点Bと点Pを結びます。ただし、点Cは点A、Bと重ならないものとします。
 桃子さんは次の図1のように点Cをとり、健太さんは次の図2のように線分ABの中点に点Cをとりました。



(2) 健太さんは、線分ABの中点に点Cをとった場合に $\angle AQC$ と $\angle BPC$ が等しく見えたことから、他の場合にはどうなるか気になりました。



そこで、次の図3のように、線分ABの中点をMとして、点Aから点Bの方向へ点Cを動かした場合に $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさがどうなるかを調べ、下のようにとめました。



調べたこと
 ○ 点Cが点Aから点Bに近づくにつれて、 $\angle AQC$ は大きくなり、 $\angle BPC$ は小さくなる。
 ○ 点Cが線分ABの中点のとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ は等しく、どちらも30°である。

健太さんは、前ページの調べたことから、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和について何かいえることがないか考えています。このとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和について、次のことがいえます。

質問調査の結果から

※数字は児童生徒の割合（％）

基本的生活習慣に関すること ～1日の始まりに朝ごはんを～

質問項目 3%以上高い…ピンク 3%以上低い…青 (※「している/どちらかといえばしている」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
朝食を毎日食べていますか	95.3	93.7	86.4	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.4	82.9	83.0	80.7
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	94.2	91.6	96.1	92.5
健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立っていますか。	81.3	82.3	83.5	76.7

子供たちの健やかな成長のためには、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠など基本的な生活習慣が大切です。朝ごはんには、睡眠中に低下した体温を上昇させて1日の始まりに脳や身体機能をウォーミングアップさせる効果があります。各学校においては、児童生徒の発達段階に応じて、授業等で自身の健康について考える機会をつくるとともに、引き続き必要な情報を発信し、家庭との連携・協力のもと、取組を進めていきます。



挑戦心、達成感、自己有用感等に関すること

質問項目 3%以上高い…ピンク 3%以上低い…青 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
自分には、よいところがあると思いますか	88.0	84.1	83.0	83.3
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	94.2	89.9	93.2	90.4
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	81.8	67.1	83.0	67.5
学校に行くのは楽しいと思いますか	89.1	84.8	90.7	83.8
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	85.9	75.8	87.4	76.2

学習習慣に関すること

質問項目 3%以上高い…ピンク 3%以上低い…青 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	87.5	80.7	84.0	78.6
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たり1時間以上勉強をしている割合（学習塾・家庭教師・インターネット活用も含む）	64.1	54.6	59.7	64.3

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」などの項目について、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を大きく上回っています。急速な社会の変化の中で、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会の創り手となることが求められています。

各学校では特色ある教育活動を展開し、児童生徒一人一人の資質・能力をさらに伸ばしていけるよう、学校教育全体で取組を進めてまいります。



ICT を活用した状況に関すること

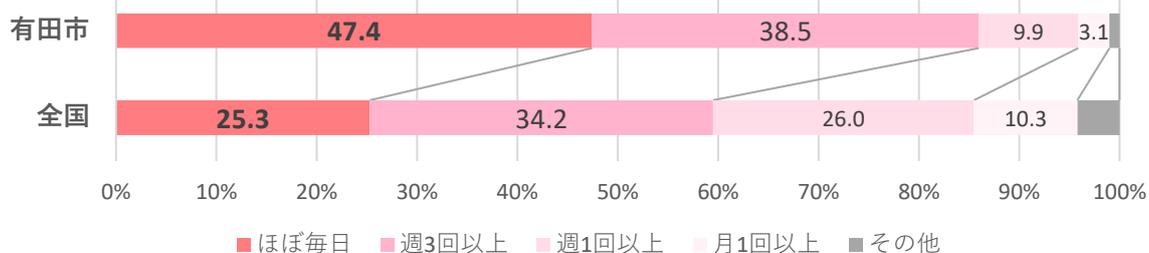
質問項目 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
5年生まで(1, 2年生のとき)に受けた授業で、 <u>PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用した</u> と回答した割合	47.8	25.3	80.6	31.0
ICT機器を活用することで、 <u>自分のペースで理解しながら学習を進めることができる</u>	90.6	85.5	88.4	80.2
ICT機器を活用することで、 <u>分からないことがあったときにすぐ調べることができる</u>	98.5	92.1	99.0	93.9
ICT機器を活用することで、 <u>楽しみながら学習を進めることができる</u>	89.0	86.0	86.4	82.4
<u>画像や動画、音声等</u> を活用することで、 <u>学習内容がよく分かる</u>	92.7	89.8	94.6	89.0
ICT機器を活用することで、 <u>自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる</u>	84.3	79.2	86.4	77.7
ICT機器を活用することで、 <u>友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる</u>	89.6	86.1	94.2	86.2
ICT機器を活用することで、 <u>友達と協力しながら学習を進めることができる</u>	93.7	87.1	92.8	85.2

令和3年4月にGIGAスクール構想の実現に向け一人一台端末と校内LANを整備し、今年で4年目になります。今年度、小学校中学校ともに、児童生徒用端末を更新しました。特に中学校においては、全国と比較して、ICT機器の活用がかなり進んでいる状況にあります。



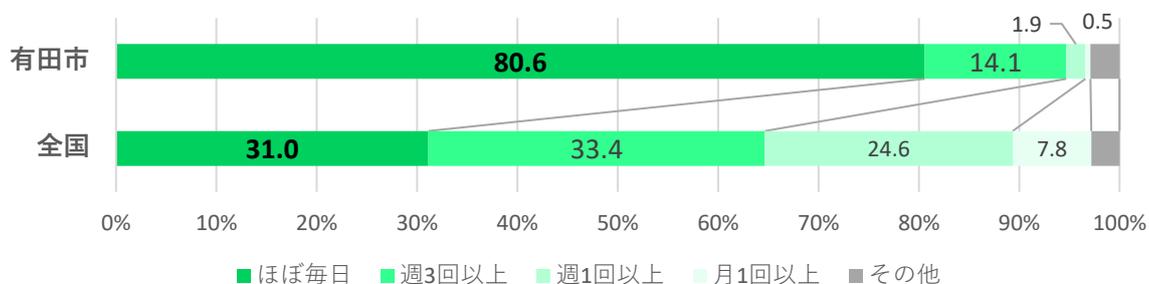
一人一人の子供を主語にした学びを実現するために、学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠であると考えています。市内各学校においては、子供たちが学びのツールとして端末を活用して考えをまとめたり、伝え合ったりする姿が見られるようになってきています。

小6



Q. 5年生まで(中学1,2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか

中3



市内4つの中学校を統合し、令和6年4月に有和中学校が開校しました。多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、個別最適化され、子供たちの資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するとともに、ICTも活用しながら児童生徒の力を最大限に引き出せるよう引き続き授業改善を行ってまいります。

上記質問項目をみると、小中ともに全国平均を大きく上回っていることが分かります。特に中学校では「ほぼ毎日」使っている割合が高くなっています。ICT機器を子供自身が効果的に使うことで学びの質を高めていきます。

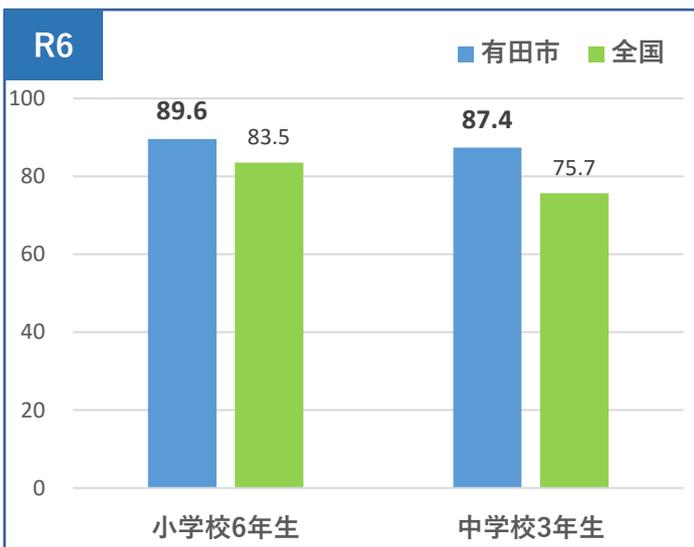
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

質問項目 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
5年生までに(中1,2の時に)受けた授業では、 <u>課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか</u>	90.1	81.9	84.5	80.3
5年生までに(中1,2の時に)受けた授業では、 <u>各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動</u> を行っていましたか	86.0	79.6	84.5	75.4
<u>学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて</u> 、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	91.7	86.3	89.8	86.1
学習した内容について、 <u>分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる</u> ことができていますか	93.2	80.8	82.6	77.9
授業で学んだことを、 <u>次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりする</u> ことができると思いますか	94.3	83.7	86.9	79.0
<u>先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている</u> と思いますか	93.2	87.9	93.6	84.9

○自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業
 ○周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
 ○一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業
 など、子供たちが社会に出てからも学んだことを生かせるように、各教科等を通じて得た力が将来にもつながる授業を目指します。引き続き、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組んでいきます。

地域や社会に関わる活動の状況等に関すること

質問項目 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
<u>地域や社会をよくするために何かしてみたい</u> と思いますか	89.6	83.5	87.4	76.1



Q. 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか (※当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答した割合)

有田市では、平成29年4月に市内すべての小中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールの仕組みを導入しました。今年度で8年目となります。コミュニティ・スクールは、育てたい子供像、目指すべき教育の目標を学校が地域と共有し、一体となって子供たちの成長を支えていくことをねらいとしています。また、幅広い地域住民等の参画を得て、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動である地域学校協働活動との一体的推進を図っています。

これからの社会を生きるために必要な資質・能力の育成に向け、学校と地域が目標を共有しながら、地域や社会に貢献しようとする意欲や態度を養うとともに、郷土に対する誇りや愛情を育てていきます。

